



高校総体・高校野球代替大会終わる

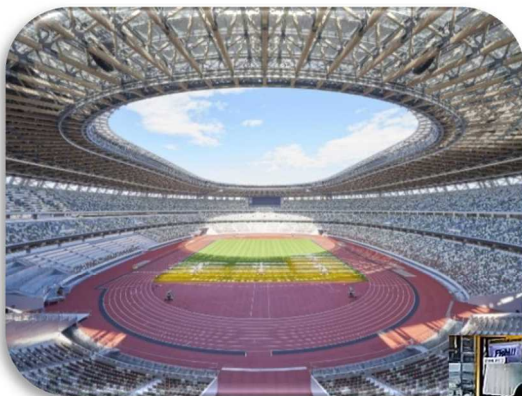
新型コロナウイルスの影響で今年3月からの各競技団体主催の大会や高校総体・高校野球選手権など、ほとんどの大会が中止になりました。3年生にとっては、人生最後ともいえる真剣勝負の場が奪われ、つらい思いをしたことと思います。さらに、3ヶ月も練習をすることができず、ストレスも溜まったことと思います。しかし、このままで3年生の高校部活動を終わらせてはいけないと、高体連、高野連主催で代替大会が行われました。開催決定が、学校再開後であったため、準備ができず出場を断念した部活動や選手もありましたが、本校もほとんどの部活動が出場しました。結果についてはすでに紹介されていますが、3年生を中心に、最後の大会で最高のパフォーマンスを発揮してくれました。全国では代替大会さえできなかったところもあります。100パーセント満足はしていないと思いますが、3年間仲間と共に部活動に打ち込んだ日々はかけがえのないものです。3年間本当にお疲れさまでした。



保護者もソーシャルディスタンスをとりながら最後に必死の応援

別府理保さん新国立競技場で激走

陸上部の別府さんが、ゴールデングラプリ陸上2020東京に出場しました。全国から選ばれた10名の高校生アスリートが、東京オリンピックに出場する日本代表と共に、レースを行いました。出場するだけでも名誉なことですが、全国の高校生が憧れる選手と、しかも新国立競技場でレースができるということは夢のようなことです。(全国放送もありました)近年、本校から、日本を代表するスポーツ選手が、現役、OBを含め多く輩出されています。新型コロナウイルスでスポーツ大会が中止になっている中、別府さんの走りは、私たちに感動と勇気と、そして生徒諸君には、熊本からも日本のトップが狙えるという自信を与えてくれました。別府さんは豪雨災害で甚大な被害を受けた人吉の出身です。地元の人たちも元気をもらったことと思います。



新国立競技場：ここで激走しました

記録：1分1秒24

なんとさらに自己ベストを更新。大舞台で、しかも日本のトップアスリートを相手に大したものです。



同級生もリモートで応援(テレビ中継されました)

